

新型コロナウイルスワクチン接種

感染症のリスクを減らすために

4月中旬以降に新型コロナウイルスのワクチン接種が行われる予定です。市では、3月下旬以降に高齢者から順次、接種券(クーポン券)を発送します。

新型コロナウイルスワクチンとは

現在供給されているファイザー社のワクチンは、ウイルスのたんぱく質を作る基になる成分を注射するものです。接種後に体内でウイルスのたんぱく質が作られ、それに対する抗体ができることで免疫を獲得できる仕組みになっています。

ます。

注射で体内に入れた成分は数分から数日といった時間の経過とともに分解されるため、体内に残り健康に影響を及ぼすことはないと考えられています。

ワクチン接種



高齢者から開始します

接種順位

重症化のリスクを考慮し、国が示す優先順位に沿って下記の順で接種を行います。

- ①高齢者(昭和32年4月1日以前に生まれた人)
- ②①を除く基礎疾患などがある人*1や高齢者施設などに勤務している人*2
- ③そのほかの人(接種日時時点で16歳以上)

*1 慢性の心臓病・腎臓病・呼吸器疾患や糖尿病などの基礎疾患がある人、免疫抑制剤や抗がん剤治療を受けている人など

*2 介護保険施設、居住系介護サービス、高齢者が入所・居住する障がい者施設・救護施設などで、直接利用者と接する人

接種券送付時期(予定)＝①は3月下旬以降。②③は4月以降

接種方法

- 公共施設などでの集団接種…接種券が届いたら、成田市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター(☎0570-037-567)に電話し、接種を希望する日時と会場を予約する(専用ホームページからも予約できます。公開次第、広報なりたや市ホームページでお知らせします)。当日は、接種券、本人確認ができる物(運転免許証や健康保険証など)、予約後に送付される予診票(必要事項を記載した物)・予約確認票を持ってきてください
- 医療機関での個別接種…医療機関に直接電話して予約する。個別接種を実施する医療機関は接種券に同封する一覧で確認してください

接種回数＝2回

接種費用＝無料

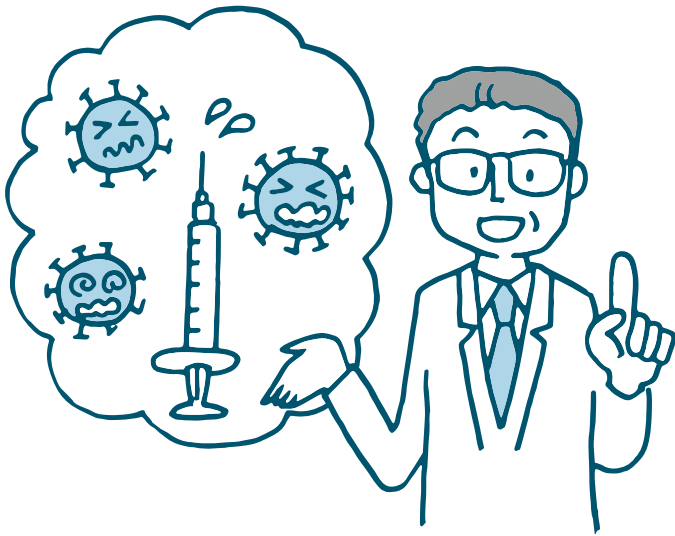
接種を受けるには本人の同意が必要です

接種は、感染症予防の効果と副反応のリスクについて理解してもらった上で、接種を受ける人の同意がある場合に限り行われます。職場や周りの人などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしたりすることのないようお願いします。

感染症予防の効果と副反応のリスクについては、市ホームページ(https://www.city.narita.chiba.jp/kenko_fukushi/page0136_00098.html)で確認できます。

※くわしくは成田市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター(☎0570-037-567)へ。

新型コロナウイルスワクチンQ&A (参考：厚生労働省ホームページ)



Q ワクチンの効果や抗体の持続期間はどのくらいですか

A ワクチンを開発した海外の企業の試験では、接種した人の方が接種していない人よりも発症した人が少ないとの結果が出ています。抗体の持続期間は、臨床試験や接種が始まってから時間が経過していないことからまだ明らかになっていません

Q 変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか

A 一般的にウイルスは絶えず変異するものであり、小さな変異でワクチンの効果がなくなることはありません。現在供給されているファイザー社のワクチンでは、変異株にも作用する抗体が作られたという実験結果が発表されています

Q 副反応にはどのようなものがありますか

A 接種と因果関係がないものも含めて、接種部位の痛みや発熱・頭痛・嘔吐・倦怠感・筋肉痛などの症状がみられたことが報告されています。また、まれにアナフィラキシー*が発生することが報告されています

*皮膚・粘膜・呼吸器・神経などで強いアレルギー反応が起きること

Q アナフィラキシーでは、どのような症状が出ますか

A じんましんや腹痛、嘔吐、息苦しさなどの症状が急に現れ、場合によっては血圧の低下や意識障害などのショック症状(アナフィラキシーショック)を起こすこともあります。接種会場や医療機関では、医薬品を準備するなど、すぐに治療できる体制を整えています

Q 接種するワクチンは選べますか

A 接種を受ける時期に供給されているワクチンを接種することになります。ただし、2回目は1回目と同じ種類のワクチンを接種します

Q 接種後に熱が出たらどうしたらいいですか

A ワクチンによる発熱は接種後1～2日以内に起こることが多く、必要な場合は解熱鎮痛剤を服用するなどして様子を見ます。接種後、2日以上発熱が続く場合は、医療機関への受診や相談を検討してください

Q 接種を受けることができない場合もありますか

A 一般的に、下記のいずれかに当てはまる人は接種を受けられないこととなっています。新型コロナウイルスワクチンの接種を希望する場合には、かかりつけ医に相談してください

- 37.5℃以上の発熱がある
- 重い急性疾患にかかっている
- ワクチンの成分に対してアナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴がある

Q 妊娠中や授乳中の人も接種を受けることができますか

A 妊娠中や授乳中の人も接種を受けることができます。なお、特段の懸念が認められているわけではありませんが、安全に関するデータが限られていることから、妊娠中または妊娠している可能性のある人には、接種のメリットとデメリットを検討した上で判断してもらうことになります。また、授乳中で接種を受けるか悩んでいる人は、かかりつけ医に相談してください

Q 新型コロナウイルスに感染したことがある人も接種を受けることはできますか

A すでに感染した人であっても接種を受けることができます。ただし、受けた治療の内容によっては治療後から接種まで一定の期間をおく必要がある場合があるので、診療を受けた医療機関に確認してください

Q 接種に年齢制限はありますか

A 現在供給されているファイザー社のワクチンは、16歳未満の人は接種を受けることができません。臨床試験などの結果によって、将来的には接種の対象年齢が広がる可能性があります

最新情報を確認するには

新型コロナウイルス感染症に関する情報は、市ホームページなどで随時お知らせしています。

成田市ホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

